

地域開発委員会

委員長 上村 一
副委員長 山本 勇介
運営幹事 東迫 紀憲
委員 池畑 慎一 ・ 加治屋 博人 ・ 常盤 尚揮
日高 直樹 ・ 福地 勇人 ・ 脇元 亮

【基本方針】

誰もがみな、自分の住むまちの将来は明るくあってほしいと、明確な意識はなくても、心の底では強く願っています。しかし、願うだけで動かなければ衰退していく一方です。地方創生の目的である仕事人が人を呼び、人が仕事を創る。その結果、地方に活力が戻る。この好「循環」を確立するため、我々は何をすべきでしょうか。今こそ変革の能動者であるJICは、時代の核心を捉えた運動を創造し、この圏域を活性化しなければなりません。

地方が抱える課題として、東京一極集中の傾向が挙げられます。とりわけ我々の地域も例外ではなく、毎年この人口流出が問題となっています。まずは、この流れを少しでも変えるために、移住の促進や若年層の人口流出の抑制など、どのようにすればこの地域が活性化できるのかを、様々な角度から検証する必要があります。そのためには、この圏域の特質や資源をしっかりと理解した上で、現在置かれている状況を把握しなければなりません。そして、この圏域に住む人たちだけではなく、圏域外からの外部の視点を入れることで、我々や官民が新たな気づきを得るとともに、意識の変革を起こす機会を作り出していきます。また、そこで得た気づきや、それまでに至る徹底的な調査・分析を基に、便利さやサービスといったものの上をいく、大都市圏にはないここだけの魅力を深く追求します。そして、その魅力を最大限に生かした、内発的で経済が循環する仕組みを考え、打ち出します。さらに、その仕組みを、試行錯誤を重ねながら磨き上げ、この圏域が真に活性化するための、より具体的な企画を発信・提言する機会を創出していきます。

人は誰も一人で生きてはいけません。一人ひとりの力は小さいですが、我々JICが官民と一致団結して、ワクワクする新たな試みに情熱を持ち、失敗を恐れず行動することで、この圏域の活力溢れた輝かしい将来を掴み取り、明るい豊かな社会を実現します。

【事業計画】

1. 地方創生の本質によるまちづくり例会の実施（2事業、公益）
2. 宮崎ブロック大会「日向」への参加企画
3. いきいき大淀川クリーン大作戦への参加協力窓口
4. 日本J C、九州地区協議会、宮崎ブロック協議会への協力、支援
5. 出向者への協力支援
6. 拡大3名必達

【予 算】

1. 地方創生の本質によるまちづくり例会の実施費（公益の事業費）	611,000円
2. 地方創生の本質によるまちづくり例会の実施費（公益の事業費）	65,000円
合 計	676,000円